

地上を照らす神の栄光

ヨハネの黙示録一八章一〜24節

その後、私は、もう一人の天使が、大いなる権威を持って天から降って来るのを見た。地はその栄光に照らされた。(一)

この章ではバビロンの滅びが語られています。バビロンとは、当時世界を支配していたローマ帝国を指します。富と権力を極めていたローマ帝国もやがて滅びると語るのです。私たちが信仰の書として黙示録を読むということは、繁栄を極めていくように見える現実世界の中に、荒廃を見抜く冷静なまなざしが与えられるということです。同時に、「地はその栄光に照らされた」とあるように、私たちはこの地上に既に神の栄光が輝いているのを見るのです。クリスマス之夜、羊飼いを照らしたあの栄光が今もこの地上に輝いていることを私たちは信仰をもって見るのです。御子キリストがクリスマスに私たちの世界に来てくださったように、主イエスは再び栄光をもってこの世においでくださいます。その再臨の主を、私たちは喜びをもって待ち望みたいと思います。